



美しい花々を見ながら子どもたちを思う

安城中部小学校長

稲 留 雄 一

令和6年度が始まって、一か月ほど経ちました。1年生が初めて通学班で登校した日。日ごろは少しやんちゃな男の子が、1年生になった弟のランドセルにそっと手を添えて登校する姿に、心が温かくなりました。登校時に校門で、「校長先生だよ」と1年生に私を紹介してくれる新6年生。その時の声とまなざしは優しさであふれていました。その横を、つい先日卒業したばかりのぴかぴかの中学生が、真っ白な運動靴を履いて、さわやかなあいさつとともに颯爽と入学式に向かって行きました。その姿がとてもまぶしく感じ、後ろ姿に心からのエールを送りました。

年度が替わり、子どもたちは戸惑いながらも、新しい環境にそれぞれのペースで少しずつ慣れてきているようです。一方で、無意識に頑張りすぎてしまい、疲れてしまっている子どももいるのではないかと思います。学校でも体調はもちろん、声の調子や表情にも気を配りながら、子どもたちの変化を見逃さないように努めてまいります。ご家庭でも、今日の学校の様子を聞いていただきながら、体の調子や心の調子を見ていただき、心配なことがあれば、ぜひ学校にお知らせください。

さて、安城中部小学校ではたくさんの花が、まさに今が盛りと咲き誇っています。特にツツジは見事です。白や薄桃色、中にはヤマツツジでしょうか、少し小ぶりですが、燃えるような真っ赤な花が咲いています。ツツジの足元にはシロツメクサも身を寄せるように咲いています。子どもたちは四つ葉のクローバーを探したり、髪飾りを作ったりして楽しんでいました。

花の種類は様々です。株の大きさも違います。ツツジやパンジーのように同じ種類であっても色は様々です。人の好みはありますが、どの花が一番美しいかと問われても、答えもなく、どの花もそれぞれ美しく、どの花も、暑い夏や厳しい冬にじっくりと栄養を蓄え、そのときに備えているからこそ、美しい花を咲かせことができているのだと思います。花が散れば、また春に向けた成長を始めます。

安城中部小学校に赴任して一年が経ちました。子どもたちの成長を見ていると、それぞれの持ち味を生かしながら、それぞれのスピードで成長している姿をたくさん見ることができます。毎日の変化はなかなかとらえにくいものですが、一年前の姿を思い出してみると、子どもたちの言葉から、しぐさから、立ち居振る舞いから、その成長を見取ることができます。つつい周りの子どもたちと比べてしまったり、兄弟姉妹で比べてしまったりした、自分自身の子育てを振り返り、反省するばかりです。子どもたちは、子どもたちのスピードで、少しずつ確実に成長しています。私たちは、子どもたちの大切な「伸びようとする芽』を、その成長に合わせて優しく育てていくことが大切なのだと、安城中部小学校の花々を見ながら自分にもう一度言い聞かせました。

